

SDGs 宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2022 年 3 月 9 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
障害者権利条約の精神に則り、地域福祉の担い手として、知的障害者のみならず精神障害者、高齢者、生きづらさを抱える様々な人々と協働するコミュニティの創造。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
当法人は、フランスに本部を置く国際ラルシュ連盟と連携し、知的障害者の支援という枠組みだけでなく、知的障害者とそれ以外の（健常者とされる人も含む）人との「相互関係」を重視している団体である。知的障害者は支援されるだけの対象でなく、疲弊し限界に達している現代社会の様々な面において、別の価値を与えていくイノベーターとしての役割を有していると私たちは考えている。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2021 年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2022 年12月31日までの取組目標
	（継続） 地域社会に根差し、知的障がい者の暮らしグループホームの運営、および日中の生活を支援する事業所の運営を行っている	地域社会に根差し、知的障がい者の暮らしグループホームの運営、および日中の生活を支援する事業所の運営を行った。	左記の継続
	（継続） 実習生や外部からの来客を受け入れ、実際に知的障がいのメンバーとの触れ合いを通し、新たな価値観を得られるような取り組みを行っている。	実習生や外部からの来客を受け入れ、実際に知的障がいのメンバーとの触れ合いを通し、新たな価値観を得られるような取り組みを行った。来客の受け入れについては、コロナ禍のため制限をつけて行った。	左記の継続
	（継続） 誰もが働きやすい職場づくり、職員のキャリアアップに努めている。多様な性の勉強会に職員が出席している	誰もが働きやすい職場づくり、職員のキャリアアップに努めた。多様な性の勉強会に職員が出席した。インターネットを使った研修を行った。	左記の継続
	（継続） 従業員の介護福祉士等の資格取得をサポートし、キャリアアップに努める。	2人の従業員が、介護福祉士試験を受けた。	左記の継続
	地域にある他の高齢者施設や少年院、児童相談所などと連携できないかを模索し進めていく。	コロナ禍の影響で施設間の交流が行われなかった。BCM研究会で他の高齢者施設の職員と情報交換を行った。	地域にある他の高齢者施設や少年院、児童相談所などと連携できないかを模索し進めていく。
	廃油を利用した粉せっけんの製造、販売を行っている。石鹸パッケージの紙化を進めている石鹸パッケージを紙にした商品を3種類増やす。	プラスチックビニールから紙の包装やプラスチックを減らした製品に移行し、約80%の製品がプラスチックを減らしたものにできた。	廃油を利用した粉せっけんの製造、販売。石鹸パッケージの紙化を進め、環境に優しい製品を販売。
	（継続・拡充） 国際ラルシュ連盟、エーザイ株式会社（研修で利用されている）大阪大学SSIサロンと連携している。カリタスみわ、安倍口作業所と地域の防災協定を結んだ。オープンダイアローグ研究会と連携し学習を行っている。	リモート会議等で、国際ラルシュ連盟と連携を行った。エーザイ株式会社とコロナ禍後に連携の再開を話し合った。	左記の継続及び拡充

（記載上の注意）

- 1 取組目標は3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	社会福祉法人ラルシュかなの家	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	
2	業 種	12. 医療、福祉	
3	従業員（構成員）数	44 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	理事長
		氏 名	小松 大三

5	所在地	〒 421-2114
		静岡市葵区安倍口新田65-5
6	ホームページURL	https://larchejapankana.localinfo.jp/